

# 海と灯台プロジェクト 2023年度実施報告書





# 海と灯台プロジェクト2023 全国への広がり

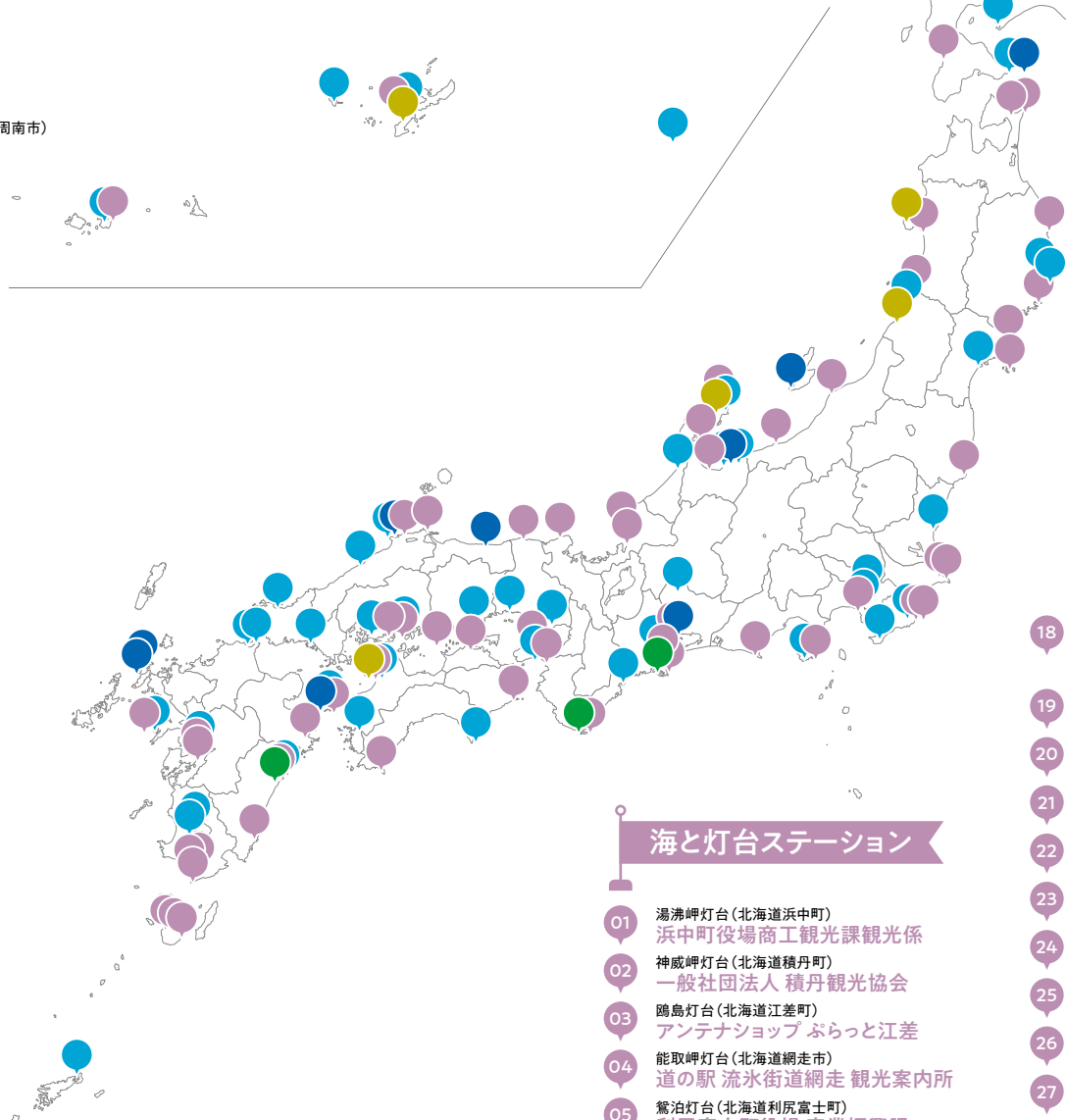
## 海上保安庁関連「海と灯台ウィークイベント 2023」

- 01 知床自然センター (北海道斜里郡斜里町) 10月8日(日)~11月5日(日)紋別海上保安部
- 02 JR室蘭駅 (北海道室蘭市) 10月27日(金)~11月2日(木)室蘭海上保安部
- 03 北方館 (北海道根室市) 10月27日(金)~11月7日(火)根室海上保安部
- 04 稚内市立図書館 (北海道稚内市) 10月27日(金)~11月10日(金)稚内海上保安部
- 05 ウイングベイ小樽 (北海道小樽市) 10月30日(月)~11月5日(日)第一管区海上保安本部
- 06 浜中町役場 (北海道厚岸郡浜中町) 11月1日(水)浜中町
- 07 イオンモール旭川西 (北海道旭川市) 11月3日(金・祝)~4日(土)留萌海上保安部
- 08 釧路市中央図書館 (北海道釧路市) 11月4日(土)~5日(日)釧路海上保安部
- 09 恵山岬灯台 (北海道函館市) 11月5日(日)函館海上保安部
- 10 大槌港灯台 (岩手県上閉伊郡大槌町) 11月1日(水)釜石保安部
- 11 大槌文化交流センター (岩手県上閉伊郡大槌町) 11月3日(金・祝)~5日(日)釜石保安部
- 12 大槌文化交流センター (岩手県上閉伊郡大槌町) 11月4日(土)釜石保安部
- 13 仙台うみの杜水族館 (宮城県仙台市) 11月1日(水)~7日(火)第二管区海上保安本部、宮城海上保安部
- 14 酒田灯台 (山形県酒田市) 11月3日(金・祝)酒田海上保安部
- 15 日立灯台 (茨城県日立市) 11月3日(金・祝)茨城海上保安本部
- 16 勝浦灯台 (千葉県勝浦市) 11月3日(金・祝)~5日(日)勝浦市
- 17 野島灯台 (千葉県南房総市) 11月3日(金・祝)千葉海上保安部
- 18 横浜第2合同庁舎 (神奈川県横浜市) 10月25日(水)~11月2日(木)第三管区海上保安本部
- 19 観音崎灯台 (神奈川県横浜須賀野町) 11月3日(金・祝)観音崎フェスタ実行委員会(浦賀観光協会)
- 20 石廊崎灯台 (静岡県賀茂郡南伊豆町) 11月3日(金・祝)下田海上保安部
- 21 北洋の館 (富山県黒部市) 11月1日(水)~15日(水)伏木海上保安部
- 22 生地鼻灯台 (富山県黒部市) 11月3日(金・祝)伏木海上保安部
- 23 大野灯台 (石川県金沢市) 11月3日(金・祝)金沢海上保安部
- 24 祿剛崎灯台 (石川県珠洲市) 11月3日(金・祝)七尾海上保安部
- 25 野間崎灯台 (愛知県知多郡美浜町) 11月3日(金・祝)~4日(土)(一社)美浜まちラボ
- 26 博物館明治村 (愛知県犬山市) 11月3日(金・祝)~5日(日)第四管区海上保安本部
- 27 斎宮歴史博物館 (三重県多気郡明和町) 10月7日(土)~11月26日(日)斎宮歴史博物館
- 28 三木崎灯台 (三重県尾鷲市) 11月1日(水)尾鷲海上保安部
- 29 三木崎灯台 (三重県尾鷲市) 11月1日(水)尾鷲観光物産協会
- 30 友ヶ島灯台 (和歌山県和歌山市) 11月5日(日)和歌山海上保安部
- 31 大阪湾海上交通センター (兵庫県神戸市) 11月3日(金・祝)大阪湾海上交通センター
- 32 姫路みなとミュージアム (兵庫県姫路市) 10月30日(月)~11月9日(木)姫路海上保安部
- 33 ショッピングモールメルカ (岡山県玉野市) 10月30日(月)~11月5日(日)玉野海上保安部
- 34 みはら海の駅ロビー内 (広島県三原市) 11月1日(水)~7日(火)(一社)三原市観光協会
- 35 宇品灯台 (広島県広島市) 11月3日(金・祝)広島海上保安部
- 36 出雲日御碕灯台 (島根県出雲市) 11月3日(金・祝)灯台ワールドサミット出雲実行委員会

- 37 大岬灯台 (島根県大田市) 11月3日(金・祝)浜田海上保安部
- 38 徳山ポートビル1階待合室 (山口県周南市) 10月27日(金)~11月3日(金・祝)徳山海上保安部
- 39 徳山下松港徳山築港防波堤灯台 (山口県周南市) 11月3日(金・祝)徳山海上保安部
- 40 山口県長門市立図書館 (山口県長門市) 10月28日(土)~11月7日(火)仙崎海上保安部
- 41 宇和島市役所1階ロビー (愛媛県宇和島市) 10月23日(月)~11月9日(木)宇和島海上保安部
- 42 坂の上の雲ミュージアム (愛媛県松山市) 10月27日(金)~11月27日(月)松山海上保安部
- 43 坂の上の雲ミュージアム (愛媛県松山市) 11月3日(金・祝)(一社)海と日本プロジェクトinえひめ
- 44 佐田岬半島ミュージアム (愛媛県伊方町) 11月4日(土)佐田岬灯台活用推進コンソーシアム
- 45 室戸岬灯台 (高知県室戸市) 11月3日(金・祝)高知海上保安部
- 46 北九州市水環境館 (福岡県北九州市) 10月26日(木)~11月6日(月)第七管区海上保安本部
- 47 部埼灯台 (福岡県北九州市) 11月3日(金・祝)門司海上保安部
- 48 伊王島灯台 (長崎県長崎市) 11月3日(金・祝)長崎海上保安部
- 49 細島灯台 (宮城県日向市) 11月1日(水)日向市観光協会
- 50 海のピラミッド (熊本県宇城市) 11月1日(水)~8日(水)熊本海上保安部
- 51 鹿児島市立科学館 (鹿児島県鹿児島市) 10月28日(土)~11月10日(金)第十管区海上保安本部
- 52 センテラス天文館 (鹿児島県鹿児島市) 11月3日(金・祝)鹿児島海上保安部
- 53 笠利崎灯台 (鹿児島県奄美市) 11月5日(日)奄美海上保安部
- 54 北大東島灯台 (沖縄県北大東村) 11月1日(水)中城海上保安部
- 55 残波岬灯台 (沖縄県読谷村) 11月3日(金・祝)第十一管区海上保安本部
- 56 石垣御神崎灯台 (沖縄県石垣市) 11月4日(土)石垣海上保安部
- 57 久米島灯台 (沖縄県久米島町) 11月5日(日)那覇海上保安部

## 新たな灯台利活用モデル事業

- 01 潮岬灯台 (和歌山県串本町) 潮岬灯台旧官舎利活用プロジェクト
- 02 細島灯台 (宮城県日向市) 細島灯台調査検証事業
- 03 安乗崎灯台 (三重県志摩市) 安乗崎灯台及び灯台資料館の利活用調査事業
- 04 佐田岬灯台 (愛媛県伊方町) 佐田岬灯台利活用推進プロジェクト
- 05 長尾鼻灯台 (鳥取県鳥取市) 長尾鼻灯台利活用八良(弥生)事業
- 06 大バエ鼻・長瀬鼻灯台 (長崎県平戸市) 2灯台を繋ぎ平戸生月島を灯すプロジェクト
- 07 恵山岬灯台 (北海道函館市) ソーシャルビジネスモデル「灯台ホリデイ」構築事業
- 08 野間崎灯台 (愛知県美浜町) 「現代版灯台守」創出事業
- 09 出雲日御碕灯台 (島根県出雲市) 日本一高い灯台を「照らす」フェス~ 出雲日御碕灯台 TERRACE~
- 10 沢崎岬灯台 (新潟県佐渡市) 灯台×地域資源「ミッション型灯台キャンプ」構想事業
- 11 生地鼻灯台 (富山県黒部市) 生地鼻灯台を中心とした生地エリア魅力発掘プロジェクト



## 海と灯台ステーション

- 01 湯沸岬灯台 (北海道浜中町) 浜中町役場商工観光課観光係
- 02 神威岬灯台 (北海道積丹町) 一般社団法人積丹観光協会
- 03 鶴島灯台 (北海道江差町) アンテナショップぶらっと江差
- 04 能取岬灯台 (北海道網走市) 道の駅 流水街道網走 観光案内所
- 05 鷺泊灯台 (北海道利尻富士町) 利尻富士町役場 産業振興課
- 06 尻屋崎灯台 (青森県東通村) ①野牛川レストハウス ②灯光会 尻屋崎支所
- 07 鱧作岬灯台 (青森県深浦町) 深浦町役場 観光課
- 08 入道崎灯台 (秋田県男鹿市) 男鹿総合観光案内所
- 09 碓石岬灯台 (岩手県大船渡市) 碓石岬インフォメーションセンター
- 10 陸中黒崎灯台 (岩手県普代村) 国民宿舎くろさき荘
- 11 大須崎灯台 (宮城県石巻市) 雄勝観光物産交流館 渚泊Station
- 12 金華山灯台 (宮城県石巻市) 観光物産交流施設Cottu
- 13 鼠ヶ関灯台 (山形県鶴岡市) 鼠ヶ関 鮎処「朝日屋」
- 14 鶴ノ尾岬灯台 (福島県相馬市) 尾浜子ども公園
- 15 江崎灯台 (兵庫県淡路市) 山六観光
- 16 犬吠岬灯台 (千葉県銚子市) 犬吠岬灯台
- 17 飯岡灯台 (千葉県旭市) 旭市飯岡刑部岬展望館

## 海と灯台ウィーク 特別企画

- 01 残波岬灯台/アトリエ銘苅ベース(沖縄県読谷村) オリジナルグッズ販売/「燈の守り人」上映会/舞台
- 02 釣島灯台/坂の上の雲ミュージアム(愛媛県松山市) 釣島灯台・旧官舎 150周年記念シンポジウムほか
- 03 祿剛崎灯台/道の駅狼煙(石川県珠洲市) さいはての灯台マルシェ/オリジナルグッズ販売ほか
- 04 荒崎灯台/渚の交番カモンマール(山形県鶴岡市) オリジナルグルメ販売/灯台ツアー
- 05 入道崎灯台(秋田県男鹿市) 入道崎灯台フェスティバル/オリジナルグルメ販売

- 18 太東崎灯台 (千葉県いすみ市) ①いすみ市観光センター ②太東崎燈台クラブ売店
- 19 安房崎灯台 (神奈川県三浦市) 城ヶ島海上イクス釣堀 J'sフィッシング
- 20 城ヶ島海上イクス釣堀 J'sフィッシング
- 21 爪木崎灯台 (静岡県下田市) 爪木崎駐車場管理事務所
- 22 御前崎灯台 (静岡県御前崎市) 御前崎市役所商工観光課
- 23 能生港灯台 (新潟県糸魚川市) 道の駅 マリンドリーム能生
- 24 角田岬灯台 (新潟県新潟市) 燦燦BASE
- 25 岩崎ノ鼻灯台 (富山県高岡市) 道の駅 雨晴
- 26 祿剛崎灯台 (石川県珠洲市) 道の駅 狼煙
- 27 能登観音崎灯台 (石川県七尾市) 花嫁のれん館
- 28 立石岬灯台 (福井県敦賀市) 敦賀駅交流施設オルパーク
- 29 越前岬灯台 (福井県越前町) 越前岬水仙ランド内 水仙の館
- 30 野間崎灯台 (愛知県美浜町) あいち美浜町観光協会
- 31 菅島灯台 (三重県鳥羽市) 鳥羽マリンターミナル
- 32 大王崎灯台 (三重県志摩市) 大王崎観光駐車場
- 33 友ヶ島灯台 (和歌山県和歌山市) 加太観光協会
- 34 櫻野崎灯台 (和歌山県串本町) 南紀串本観光協会
- 35 海岬灯台 (和歌山県串本町) 南紀串本観光協会
- 36 経ヶ岬灯台 (山形県鶴岡市) 京丹後市 丹後市民局
- 37 余部岬灯台 (兵庫県香美町) 道の駅「あまるべ」
- 38 江崎灯台 (兵庫県淡路市) 淡路市役所商工観光課
- 39 六島灯台 (岡山県笠岡市) 笠岡市六島前浦港 待合所
- 40 大久野島灯台 (広島県竹原市) 竹原市観光協会
- 41 佐木島灯台 (広島県三原市) 三原市役所 経済部 観光課
- 42 出雲日御碕灯台 (島根県出雲市) 日御碕ビクターセンター
- 43 美保関灯台 (広島県三原市) 美保関灯台ビューフェ
- 44 角島灯台 (山口県下関市) 角島灯台公園展望ギャラリー
- 45 蒲生田岬灯台 (徳島県阿南市) かもだ岬温泉保養施設
- 46 高松港玉藻防波堤灯台 (香川県高松市) 香川・高松ツーリストインフォメーション
- 47 伊方町観光交流拠点施設「佐田岬はなはな」
- 48 釣島灯台 (愛媛県松山市) 坂の上の雲ミュージアム
- 49 足摺岬灯台 (高知県土佐清水市) ジョン万次郎資料館
- 50 室戸岬灯台 (高知県室戸市) 一般社団法人室戸市観光協会
- 51 伊王島灯台 (長崎県長崎市) 伊王島灯台記念館
- 52 湯島灯台 (熊本県上天草市) ①上天草市 湯島出張所 ※平日のみ ②天草四郎観光協会 ※土日祝のみ
- 53 鶴御崎灯台 (大分県佐伯市) 佐伯市観光案内所
- 54 水ノ子島灯台 (大分県佐伯市) 佐伯市観光案内所
- 55 細島灯台 (宮城県日向市) 馬ヶ背茶屋
- 56 鞍崎灯台 (宮城県日南市) 道の駅なんごう
- 57 薩摩長崎岬灯台 (鹿児島県指宿市) 指宿市総合観光案内所
- 58 屋久島灯台 (鹿児島県屋久島町) ①屋久島観光協会 安房観光案内所 ②屋久島観光協会 宮之浦観光案内所 ③屋久島観光協会 空港前観光案内所
- 59 佐多岬灯台 (鹿児島県南大隅町) ①南大隅町役場 企画観光課 ②佐多岬観光案内所
- 60 平久保岬灯台 (沖縄県石垣市) 石垣市役所 観光文化課
- 61 残波岬灯台 (沖縄県読谷村) 残波岬支所





## 「海と灯台プロジェクト2023」 成果報告会

灯台利活用に取り組む全国11地域の事業担当者が集結。

各団体が実施した灯台イベントや地域活性化事業の成果を振り返り、

得られた成果や今後の課題・展望などを発表した。

また日本財団・海野光行常務理事より、

「海と灯台プロジェクト」の新たな目標について、

**「日本の灯台群を世界遺産を目指す」**が発表され、

今後のプロジェクトのさらなる盛り上げりに期待を寄せた。



開催日時	2024年2月14日(水) 13:00~17:00
開催方法	日本財団ビル2階大会議室(東京都港区)
参加人数	会場参加 <b>約80名</b>
取材メディア	<b>計7社</b> (テレビ6社、WEB1社)
メディア掲載	<b>計65件</b> (テレビ7回、WEB58件:3件+PR TIMES 55件)
開催概要	海と灯台プロジェクト概要説明 全国11地域で行った灯台の調査・利活用の成果報告 日本財団海野光行常務理事による発表 交流・名刺交換会



# Project.1

## 新たな灯台利活用 モデル事業

灯台の存在価値を高め、  
灯台を起点とする海洋文化を次世代へと継承していくことを目的に、  
灯台の様々な利活用モデル創出に取り組む団体を公募。  
厳正な審査を経て11団体を採択し、  
全国11地域で灯台の利活用に向けた調査や事業などに取り組んだ。

### 🔍 調査検証コース ▶

対象とする灯台の固有の歴史や役割に関する調査を行うとともに、  
灯台利活用に関する仮説を設定し、検証を行った。



潮岬灯台  
和歌山県串本町



細島灯台  
宮崎県日向市



安乗埼灯台  
三重県志摩市

### 📺 利活用実施コース ▶

対象とする灯台の存在意義を高め、海洋文化資産として未来に継承することを目的に、  
灯台利活用に係るイベント開催、ガイド育成や学習プログラム創出などを行なった。



佐田岬灯台  
愛媛県伊方町



長尾鼻灯台  
鳥取県鳥取市



大バエ鼻・長瀬鼻灯台  
長崎県平戸市



恵山岬灯台  
北海道函館市



野間埼灯台  
愛知県美浜町



出雲日御碕灯台  
島根県出雲市



沢崎鼻灯台  
新潟県佐渡市



生地鼻灯台  
富山県黒部市





# 潮岬灯台旧官舎利活用プロジェクト

[ 紀の国灯台利活用推進委員会 ]



Shionomisaki  
Lighthouse

## 目的 [明らかにしたい仮説]

- 01 世界で注目されているホテルには「快適な宿泊」以外にプラスαの魅力がある。
- 02 「灯台ホテル」に泊まることで新たな灯台ファンを生み出すことができる。

## 調査検証概要

- 01 海外視察
- 02 国内高級宿の調査
- 03 国内灯台の利活用事例調査
- 04 灯台で過ごす時間演出の実証調査・有識者ヒアリング

## 調査検証によってあきらかになった課題とその解決のための施策案

課題1	課題2	課題3	課題4
料理などサービスの充実	1棟貸宿案の年間利用者数の少なさ	潮岬灯台資料館の古さ	長期的に人気の出る宿に
別棟ホテル案	官舎をレストラン活用	他灯台を参考にアップデート	コテージの部屋をオーシャンビューに

## 調査検証を踏まえた今後の展開案

- 1棟貸プラン** 灯台守の存在を後世に伝える歴史遺産を、現代の基準にあった耐震補強とリノベーションを行い、宿泊施設に。
- 別棟ホテルプラン** 灯台そばに宿泊できる体験型コテージ。旧官舎では、地元食材を使ったディナーが楽しめる!

## 01 海外視察 [建築・ノーザンライトハウスボード]

## 02 国内高級宿の調査

## 03 国内灯台の利活用事例調査

- 長期的に人気の出る宿に
- ガイドツアー
- 資料館の目線
- 飲食など付帯サービス
- イベント的盛り上げ
- 訪れる人々への観察

## 04 灯台で過ごす時間演出の実証調査・有識者ヒアリング

[有識者]  
竹林陽子(田辺市・デザイナー)  
ヘメンディングー綾(和歌山市・ライター)  
後呂孝哉(那智勝浦町・宿経営)  
岩倉島史(古座川町・デザイナー)



# 細島灯台調査検証事業

[ 細島灯台灯りの輪 ]



## 👍 背景と目標 ▶▶▶

「細島灯台」を  
うまく活用できていない。

- 01 日向市民の細島灯台の認知度は高いが、実際に足を運ぶ市民の数は少ない。
- 02 細島灯台の歴史、役割、文化について知っている市民が少ない。
- 03 細島灯台にしかない魅力を発掘できていない。
- 04 細島灯台の歴史、文化、環境等について語る人が少ない。
- 05 日向市民に対する効果的な情報発信ができていない。

日向市民に細島灯台を知ってもらいたい。  
まずは地元が愛する灯台へ。

## 👍 調査事業 ▶▶▶

### 01 現地調査



### 02 文献調査・資料など収集



### 03 インタビュー調査



日向市観光ボランティアガイド「平兵衛さんの会」松葉藤吉会長  
宮崎大学 地域資源情報活用センター 伝承特別調査員 緒方博文氏

## 👍 検証事業 ▶▶▶

### 01 専門ガイドの育成



日向市歴史観光ボランティアガイド「平兵衛さんの会」へのガイド講習会・意見交換会



灯台ガイドマニュアルの制作



細島灯台ガイドツアーの実施

### 02 地元を学ぶ! 灯台塾



地元高校向け灯台研修会



灯台ガイドマニュアルのイラスト制作



「平兵衛さんの会」との意見交換

### 03 灯台クルーズ



日の出クルーズ

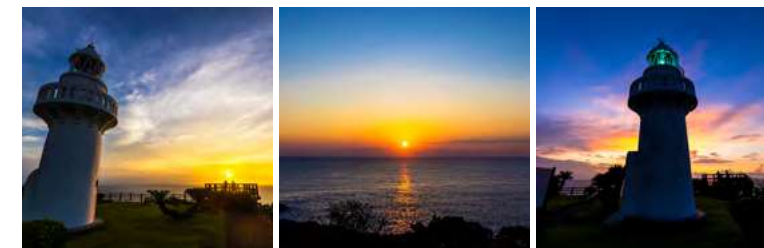


細島灯台クルーズ

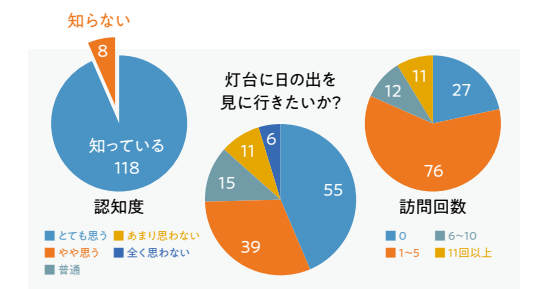
### 04 ナイトハイク



### 05 灯台with日の出 ~ここでしか見ることができない絶景を~



細島灯台×日の出撮影会



地元住民対象のアンケート調査

## 👍 成果 ▶▶▶

### 灯台を起点とした地域の連携

灯台周辺景観の課題抽出がなされ、  
景観に対する意識が向上した

- ✓ 景観まちづくりの推進
- ✓ 常夜灯などの存在価値の再認識

## 👍 メディア露出 ▶▶▶

### 調査検証事業等へのフォーカス

地元新聞社、地元テレビ局ローカルニュース  
年末TV特番など

2023年紅白歌合戦で水森かおりさんが「日向岬」  
を熱唱。背景に「細島灯台」が映し出される







# 「安乗埼灯台及び灯台資料館の利活用調査」事業

[ 安乗埼灯台観光活性化推進コンソーシアム ]

Anorisaki  
Lighthouse



## 👍 目的 [明らかにしたい仮説] ▶▶▶

安乗埼灯台および周辺(灯台資料館、園地、灯台カフェ、大王崎灯台など)には、現時点では認識できていない価値や利用の可能性がある。それらを理解し、安乗埼灯台および周辺を新たに整備し活用する。

➡ **志摩市民のシビックプライド向上と、観光消費額の増加を図る**

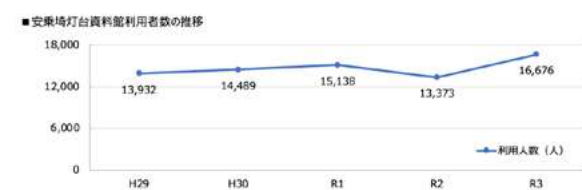
## 👍 調査事業 ▶▶▶

### 01 灯台および周辺地区についての調査



安乗埼灯台の高さや光達距離などの基礎データ、設置経緯、関係者インタビューなどを通じて、安乗埼灯台ストーリーを作成。また神事や歴史など安乗地区の文化を調査。

### 02 灯台観光のニーズを調査



灯台観光ニーズに関するWEBアンケート調査及び安乗埼灯台への参観者に対するアンケート調査を実施。安乗埼灯台の知名度や来訪経験、また灯台観光に求められる要素などを明らかにした。

## 👍 検証事業 ▶▶▶

### 01 市民ワークショップの開催



#### 参加メンバー

- 若者、観光事業者
- 行政担当者
- 地域の商店、神社、自治会

#### 目的

- 灯台の価値を再認識
- (地域の) 取り組み状況の整理
- 安乗地区の活性化手法の洗い出し

### 03 初点灯150年記念 オリジナルグッズの製作



灯台マルシェ参加者にプレゼント。

### 02 灯台マルシェの開催



大漁旗リレー



ドローン撮影会



謎解きゲーム



灯台スイーツ



マルシェ出店

## 👍 調査検証であきらかになった 課題解決のための施策案 ▶▶▶

01 中京圏・関西圏の居住者で、三重県、特に伊勢志摩エリアへの観光客を誘客

02 近隣の宿泊施設連携、バイカー誘致を進め、灯台参観以外を楽しんでもらう仕掛けを作る

03 以下のグランドコンセプトを設定し施策を推進  
「海の恵みの感動体験～癒しと絶景の安乗埼灯台」

## 👍 メディア露出 ▶▶▶



のべ62媒体 総PV数:695PV





利活用  
実施コース

# 佐田岬灯台利活用推進プロジェクト

[佐田岬灯台利活用推進コンソーシアム]



灯台官舎跡地

## 目的

四国最西端に位置する佐田岬灯台の旧官舎跡地に官舎を復元し、”最果ての時間と空間を提供”する「ちいさな灯台ホテル」を目指す。「灯台守追体験」等を提供するため、ユース世代等の人材育成にも取り組み、持続可能な事業とする。

### 達成目標

2023年度、旧官舎跡地の土地調査・整備計画作成・実現可能性調査完了。  
2025年度に「灯台ホテル」整備開始を実現するため一歩目を踏み出す。

## 実施計画



### 事業1 高付加価値宿泊施設の整備計画調査

取組1 旧官舎跡地における高付加価値宿泊施設のハード整備に向けた土地調査・整備計画作成

### 事業2 町内灯台関係人材(燈人)の育成

取組1 佐田岬半島ミュージアムと連携した元灯台守・阿部富士男氏登壇シンポジウム

取組2・3 燈人育成プログラムの一環で夜の灯台学習会・キャラクター化など

## 事業1 高付加価値宿泊施設の整備計画調査



### 取組1 ハード整備構想

✓自然公園法にかかる調査 ✓活用手順の検討



### 構想1

自然公園法施行規則に沿った高付加価値ホテル



### 構想2

園地事業の附帯施設としての休憩所(人々の交流場所)整備

## 事業2 町内灯台関係人材(燈人)の育成

取組1 佐田岬灯台シンポジウム～歴史を学び未来を照らす～ 11月4日(土) 佐田岬半島ミュージアム



取組2 夜の灯台解放&エメラルドタイム学習ガイドツアー 11月19日(日)/佐田岬灯台



三崎高校の生徒、佐田岬みつけ隊(佐田岬半島ミュージアムサポーター)、伊方町地域おこし協力隊、旅館経営者、道の駅事業者、地元漁師(海士:あまし)など、**将来の燈人候補者ら約40名**が参加。佐田岬灯台の魅力の一つ「エメラルドタイム」についてガイドツアーを通して学習。

取組3 三崎高等学校生徒による佐田岬半島に10ある灯台のキャラクター化 1月20日(土)



三崎高校の生徒7名が佐田岬にある10の灯台のキャラクターを制作。今後、グッズ化し、道の駅や佐田岬半島ミュージアムショップで販売。

## 今後の展開予定 [ハードとソフト両輪で事業展開しながらステップアップを図る]

### ハード事業

日本財団様と相談しながら具体的な事業計画の策定  
灯台を訪れる観光客や地元住民の顕在/潜在的な需要の追加調査と検証  
官舎跡地の払下げにかかる土地費用について複数の鑑定士による予備調査を実施、想定価格の算出

### ソフト事業

佐田岬灯台に関する知識習得を目的とした「佐田岬灯台 燈人検定」の実施  
町内に様々な立場で点在する「燈人」の活動機会を創出する  
三崎高校生と連携した継続的な取り組み





利活用  
実施コース

# 長尾鼻灯台利活用 八良い(弥生)事業

【鳥取市青谷地区振興プロジェクト実行委員会】



Nagashina  
Lighthouse

海と灯台のまち青谷の「いま」の魅力を紹介！

## 👍 目的 ▶▶▶

### 「AOYA TODAY」とは？

昨年度反響を得た「青谷灯台物語」を深め、地域の生涯学習としての一貫教育を作り上げるプロジェクト。海と灯台のまち青谷の「灯台(TODAI)」を学び、「今(TODAY)」の魅力を発信する。コンセプトは「青谷の誇り。未来への灯り」「灯台」を起点に自分たちの誇れる町を知り、存在意義を未来へと継承する。

#### 青谷小学校

- 古代米体験
- 読書会
- 灯台訪問
- 因州和紙灯台ランプ

#### 青谷中学校

- ふるさと学習探求あおや
- × 海

#### 青谷高校

- 地域学習青谷学
- × 灯台

灯台を起点に青谷の誇りを醸成。  
子供たちを灯台とともに地域の未来を灯す  
プレイヤーとして育成。

## 👍 実施計画 ▶▶▶

プロフィール  
水原 雅之さん

学習プログラム

自走の仕組

誘客・一般向け

体制構築

今後の検討

## 👍 成果 ▶▶▶

### 01 AOYA TODAY WEBサイト



小・中・高の学習レポートを  
随時アップロード



### 02 レンタサイクル事業として展開し自走の資金とする



海や灯台につながるスポットをレンタサイクルルートとして展開

### 03 日本海テレビによる番組(動画)製作



小・中・高校の授業で活用可能な動画として！  
WEBサイトの誘客コンテンツとして活用！

## 👍 実施結果 ▶▶▶



今期のプロジェクトは、  
来期自走する種づくり

※日本海テレビが関わって、協賛>負担

来期は地域の体制で  
学習&自走をスタート

## 👍 メディア露出 ▶▶▶



テレビでの展開 ●「海と日本プロジェクト SEA」  
●「海と灯台プロジェクト特別番組」



地域の展示会で灯台の絵画が一堂に！  
「鳥取市児童生徒交流絵画展」





利活用  
実施コース

# 2灯台を繋ぎ平戸生月島を灯すプロジェクト

[ 灯台からのメッセージ運営委員会 ]



## 👉 目的 ▶▶▶

### 2022年度の実証実験

島の2つの地域が初めて一緒に1つの事業に共に取り組み、灯台を軸に島の風景・歴史・文化・人々をつなげることができた!

### 2023年度の実証実験

灯台で繋がる人と人  
灯台を軸に島をひとつにして  
島全体を活性化したい!

「灯台と灯台 海・空・陸・人」

埋もれかけた灯台の利活用を促し  
2つの灯台を「繋ぐ」ことで  
観光資源として開発・定着させる

## 👉 実施計画 ▶▶▶



- 01 草木に埋もれつつある長瀬鼻灯台へのアプローチ整備と周辺の整地・誘導看板設置。
- 02 地元小中学生によるボランティアガイドと小学生による紙芝居で2つの灯台のある生月島全体の魅力を発信。
- 03 「灯台ツナギ陸ルート」(サンセットウェイ)をヒッチハイク体験でツナグ!
- 04 「灯台ツナギ海ルート」2灯台と島の自然と歴史的・文化的遺産を海上ルートで巡る新たな観光ルートを実施。
- 05 灯台ステージ、灯台マルシェで灯台と地域の魅力を活性化。

## 👉 成果 ▶▶▶

01 草木に埋もれつつある生月長瀬鼻灯台周辺の整地・整備と看板設置



幻の観光地となっていたが、周辺を整備し、地元の子どもたちによる看板を設置

02 地元小中学生によるボランティアガイドと小学生による紙芝居



2つの  
お話を  
紙芝居に

03 「灯台ツナギ陸ルート」(サンセットウェイ)をヒッチハイクでツナグ!



04 「灯台ツナギ海ルート」2灯台を海上ルートで巡る



ツナガル海ルート 10:00-17:00

2つの灯台と、鯨島塩俵の断崖や長瀬八洞ダンジグ様、聖地中江ノ島を海から見える貴重なクルーズ!!  
10時, 12時, 14時, 16時  
17時(サンセットクルーズ)  
おひとりさま ¥3,000 (税込)  
事前予約優先  
ご予約はこちらから▶

05 灯台ステージ、灯台マルシェで灯台と地域の魅力を活性化

■実施日:2023年11月11日10時~17時 ■来場者数:約1000名  
■ボランティアスタッフ:約80名(総スタッフ数約100名)







利活用  
実施コース

# ソーシャルビジネスモデル 「灯台ホリデイ」構築事業

[ 恵山岬灯台活用協議会 ]



散策・ガイドツアー



ドッグラン(直営)



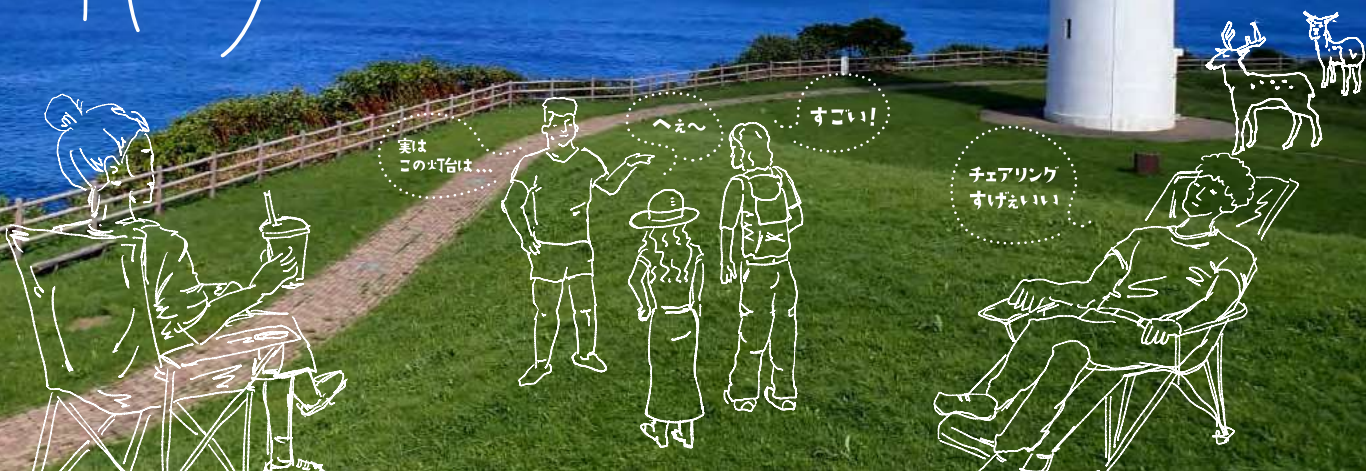
縁日・薪割り体験(直営)



マルシェ&キッチンカー

# 灯台ホリデイ

散策ガイドツアーで  
海と灯台の歴史や建築美、自然を学び、  
チェアリング(屋外で座ってつづく体験)で  
のんびりリラックス。  
さらに、特典・割引ブックで  
買い物や温泉をお得に楽しめる、  
地域の魅力再発見イベント、「灯台ホリデイ」。



## 👍 目的 ▶▶▶

### 函館東部エリアを 活性化させたい!

という思いから、  
昨年度の調査検証をふまえて、  
海と灯台の魅力を活かした新イベントを企画。

- 01 地域の20代~30代の目的  
→ 地域おこし
- 02 函館市の目的  
→ 限界集落の活性化・移住促進
- 03 隣接ホテル・地域の企業・商店の目的  
→ 活動支援・本業PR

## 👍 実施計画 ▶▶▶



イベント企画



実施体制構築



初期投資(備品・ツール準備)



協賛金募集



のべ10日間開催



今後の検討

## 👍 成果 ▶▶▶



参加費は当日1500円/予約1000円  
10月~11月、のべ10日開催

参加費・物販など売上  
出店料、協賛

活動維持費  
イベント開催費

今後、自走する目途が立つ!

## 👍 メディア露出 ▶▶▶



NHK北海道での特集や  
地元紙1面掲載のほか、テレビ3回、  
新聞9回、WEB34回の露出







利活用  
実施コース

# 野間埼灯台ポータル化プロジェクト

[野間埼灯台ポータル化実行委員会]



## 👍 目的 ▶▶▶

「野間埼灯台」に”有人常設拠点”として、オシャレなキャンピングカーを設置し、「現代版灯台守」の育成。ウェディングフォトなど、灯台を利活用したさまざまな有料サービスを提供するなど、「野間埼灯台」を中核とした地域経済の活性化を目指す。地域のハブとして「現代版灯台守」が自立して継続できる事業・体制を創出する。



現代版「灯台守」を配置し、2023年度は年間収支計画を策定。その人件費等が捻出できる持続可能な事業体制を2025年春までに整える!

## 👍 企画の意味[取り組む理由] ▶▶▶

- 01 灯台のポテンシャル
  - 愛知県最古の灯台
  - 国道沿いに立つ好立地
  - 夕日の名所
- 02 現代版灯台守をフォロー
  - 自治体、観光協会、地元メディア、観光事業者、イベント事業者が連携
  - 現代版灯台守を多角的にフォロー
- 03 恋人たちの聖地
  - 以前から「恋人たちの聖地」として有名
  - ウェディングフォトなどを楽しむスポット
- 04 有料サービス提供の可能性
  - ウェディングフォトやチャリングなどロケーションを活かした有料サービス提供の可能性が広がる

## 👍 実施結果 ▶▶▶



### 反響大きく、30組の応募



年間100日、野間埼灯台でウェディングフォトを撮影するカメラマンとキッチンカー運営を考えるカップルに決定

23年11月カップルで名古屋から美浜町に移住

募集から任命、その後の活動までテレビ局取材6件、新聞8件、WEBは多数と各種メディアに露出

美浜町長や海上保安庁への表敬訪問をはじめ、町のイベントにも参加するなど、町に溶け込みながら活動中!





利活用  
実施コース

# 日本一高い灯台を“照らす”フェス ～出雲日御碕灯台TERRACE～

【日御碕・鷺浦灯台利活用プロジェクトコンソーシアム】



Izumihinomisaki  
Lighthouse

告知ポスター



テーマソング



紙芝居ライブ



灯台アート(行燈)



音楽ライブ

高校生マーチングバンド



灯台グルメ

## 👍 目的 ▶▶▶



出雲日御碕灯台の入口にある、日御碕商店街は**空き家**が目立ち、観光客や地域の人々が楽しめる**イベント**がない…。



石造り灯台として日本一の高さを誇る出雲日御碕灯台は、絶好の夕陽スポット。名物は海鮮丼!



灯台と海を見ながら  
イベントやグルメを楽しむスペースを設け、  
地域や周辺の人たちを集め、日御碕を盛り上げよう!

## 👍 実施計画 ▶▶▶



- 01 ライブステージ
- 02 灯台グルメマルシェ
- 03 灯台を照らすランタン
- 04 灯台スタンプラリー
- 05 灯台ガイドツアー

## 👍 成果 ▶▶▶



- 来場者数  
3379人 (通常の3倍)
- 地元のまきこみ
  - 地元店舗の新店(8店舗)
  - 地域おこし協力隊メインメンバーの参加
  - 参加アーティストからも高評価
  - 2024年も実施したいという声が多数

## 👍 今後の展開予定 ▶▶▶

“日本一の灯台”から“日本一のアーティストを”  
石造り灯台日本一の高さを誇る出雲日御碕灯台を中心に、  
灯台のように日本一を目指すアーティスト発掘のFESとする

- 灯台が照らすFES  
多くのアーティストが集合!
- 有料化  
お金を払って楽しむ非日常空間
- アーティストが自主運営  
最高のライブステージは自ら運営
- 灯台魅力化へ  
来場者の寄付による参加型FES
- 灯台と言えば…  
夕暮れ～夜の幻想的な空間へ





利活用  
実施コース

# 灯台×地域資源 「ミッション型灯台キャンプ」構想事業

[ さど探求プロジェクト ]

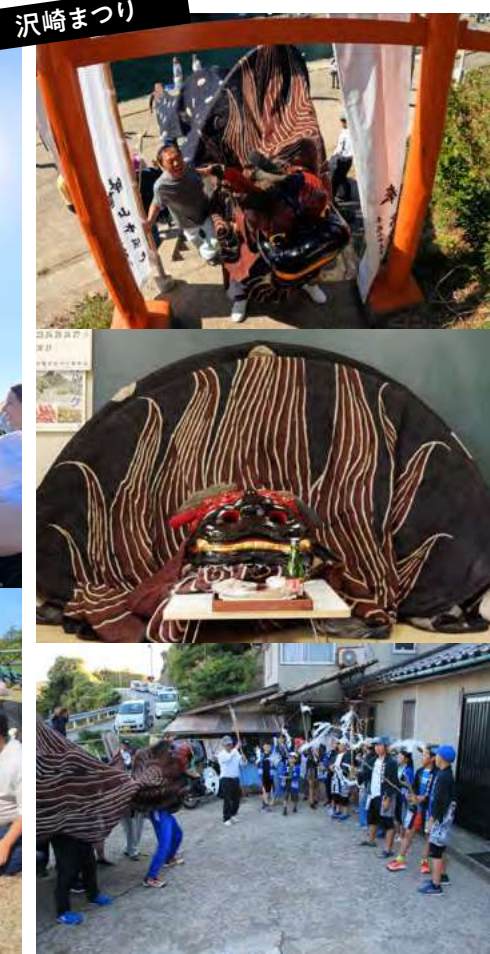
沢崎集落の神石神社の例祭。  
人口減少で存続が危ぶまれている。



灯台キャンプ



沢崎まつり



## 👍 目的 ▶▶▶

### 【灯台キャンプ】

絶景を誇る  
集落のシンボル  
沢崎鼻灯台の  
ふもとでのキャンプ

### 【地域資源】

人口減少の  
影響で  
担い手が不足し、  
文化継承が危うい



灯台に人々が集まる  
空間・仕組をつくることで  
地域の活性化と、  
魅力ある文化を未来につなぐ

## 👍 実施計画 ▶▶▶

### ミッション型灯台キャンプとは

「灯台という特別な場所でキャンプをしながら、地域のお手伝いをする」という体験プログラム。灯台が海と人と文化を結ぶ結節点となり、継続的に集落との接点を維持し、関係人口を創出。



## 👍 成果 ▶▶▶



灯台と地域の結びつきを再現  
地元の巻き込みに成功



灯台を軸にすることで  
地域の文化を未来につなぐ  
仕組みづくりができることが分かった

## 👍 メディア露出 ▶▶▶



NHK新潟「新潟ニュース610」  
佐渡テレビジョン  
にて5分間特集



新潟県観光協会  
HPにて紹介





利活用  
実施コース

# 生地鼻灯台を中心とした 生地エリア魅力発掘プロジェクト

[ 生地地区灯台利活用プロジェクト実行委員会 ]

自由に灯台に登れるように！  
灯台からの夕陽を  
ぜひ見てもらいたいと、  
日没まで登頂時間を変更。



地域の伝統料理  
「立て焼き」実演販売

## Ikujibana Lighthouse



灯台登頂



灯台ミニライブ



灯台マルシェ

灯台ライトアップ

ナイトマーケット時は、  
安全面に配慮し、  
登頂ではなく「見る」  
「映える」灯台演出を！

灯台コラボ商品



生地鼻灯台かまぼこや地酒



### 目的 ▶▶▶

北洋漁業へと出かけ、  
そして灯台の燈を目指して  
戻ってきた生地の漁民。  
行く人、送る人、帰る人、迎える人…。  
様々な交錯する人々の想いで、  
生地の浜は賑わっていたことだろう。

令和の今、灯台の燈の下に集えば、  
かつての賑わいを呼び戻せる

そんな想いのもと、企画・実施したのが、  
「灯台ナイトマーケット」だ。  
灯台に登り、灯台周辺でのマルシェやステージ、  
景色や文化、食のイベントを楽しみ、  
特別な時間を過ごすコンテンツを用意し、  
地域住民や事業者、自治体と共に企画運営し、  
定期開催を目指した。



### 実施計画 ▶▶▶



- 01 10月21日(土) 既存イベント 「生地鼻灯台ファンタジー」との共催
- 02 11月3日(金・祝) 海と灯台ウィーク中 海上保安庁による灯台公開・写真展と共催
- 03 11月18日(土) オリジナルのイベント開催

### 成果 ▶▶▶



- 01 10月21日(土) 風雨の中開催 灯台向かい「北洋の館」倉庫内に テントを設営して開催。500人集客。 **盛況!**
- 02 11月3日(金・祝) 最高気温30°C! 800人集客。 **大盛況!**
- 03 11月18日(土) 10月以上の暴風雨 外出もはばかれる天候の中で 来場は80人。

### メディア露出 ▶▶▶



北日本新聞  
2023年  
10月22日朝刊

北陸中日新聞  
2023年  
10月22日朝刊





# Project.2

## 海と灯台ウィーク2023

「灯台記念日」である11月1日から8日間にわたり、

日本財団や海上保安庁、全国57の「海と灯台のまち」参画自治体、企業などとともに、

灯台の魅力発信イベントや灯台オリジナルグッズのプレゼント、

SNS投稿キャンペーンを全国で展開。

期間中の11月4日には、灯台に関心を持つ人々や有識者が集う

「海と灯台サミット2023」を東京都内で開催した。



### ● ● 「海と灯台ウィーク2023」イベント ● ●



#### Event.01

#### 全国各地で海上保安庁が 関連イベント開催

普段は登れない灯台の特別公開やパネル展示、シンポジウム、灯台保守のお仕事体験会など。北海道から沖縄まで全国各地で開催。参加者には「海と灯台ウィーク」オリジナル缶バッジをプレゼント!

#### Event.02

#### 全国の市町村に 「海と灯台ステーション」開設

全国57市町村に開設する「海と灯台ステーション」で全61種類のご当地灯台缶バッジをプレゼント。「海と灯台ウィーク」終了後も、各ステーションで100個の在庫を継続して配布しました。



#### Event.03

#### 異業種・異分野の有識者が集結 「海と灯台サミット 2023」

「海と灯台ウィーク」期間中の11月4日(土)、東京ポートシティ竹芝(東京都港区)で「海と灯台サミット2023」を開催。「灯台を巡る、という人生の楽しみ方がある」をテーマに、異業種・異分野の有識者や灯台に関心を持つ人々が語り合いました。

### Special Event

#### 地域連携による灯台スペシャルイベント

地域の人々や企業、放送局、自治体などが協働し、趣向を凝らしたイベントを企画。灯台を通じた地域の新しい魅力づくりに取り組んだ。



### Campaign

#### X(旧Twitter) 投稿キャンペーン

灯台ファンや一般の方それぞれが感じる灯台の魅力を写真やイラストなどで投稿するキャンペーンを実施。灯台グッズなどをプレゼントした。



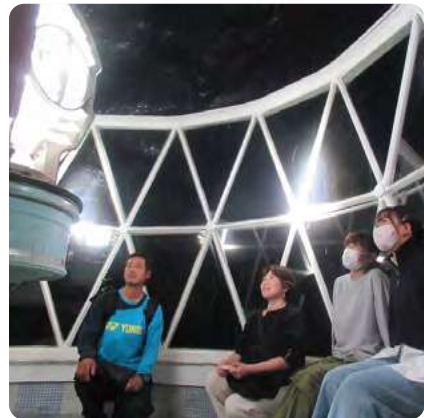




# 海と灯台 Week 2023

11.1 Wed - 11.8 Wed

全国で気軽に楽しく「灯台」に触れ合える8日間!



海上保安庁と連携し、  
全国**54カ所**でイベントを実施。  
**5万人**以上が来場し、  
オリジナル缶バッジ**3万個**を配布!

全国**13の地域**で  
関係団体・企業と連携した  
イベントを開催

**57市町村**と連携し、  
全国に**65カ所**の  
「海と灯台ステーション」を開設。  
ご当地灯台ポスターの掲示と  
オリジナル缶バッジ配布を実施!



「海と灯台サミット 2023」には、  
**約200名**が現地参加。  
さらにYouTubeライブ配信を  
**275名**がリアル視聴。

特別番組  
「灯台を読む」の公開収録を  
**53名**が鑑賞。

「海と灯台サミット 2023」は  
テレビ局**18社**、  
WEBメディア**3社**が取材  
メディア掲載は**155件**に!

X(旧 Twitter)で展開した  
「灯台っていいよね」キャンペーン  
応募総数は**293件**!





# 海と灯台サミット 2023

シンポジウムでは  
 「灯台を巡る、という人生の楽しみ方がある」をテーマに、  
 13名の有識者による提言や活発な議論が交わされ、  
 情報交換会は、灯台利活用に関心を持つ  
 自治体・企業担当者などが参加し、  
 灯台利活用について意見交換が行われた。  
 テレビ番組「灯台を読む」の公開収録では、  
 直木賞作家が灯台の価値や未来について語り合い、  
 灯台の魅力を発信した。



- 開催日時** 2023年11月4日(土) 10:00~17:00
- 開催方法** 東京ポートシティ竹芝(東京都港区)+ YouTube ライブ配信
- 参加人数** 【第1部】シンポジウム:会場参加**約200名**、YouTube ライブ視聴**275名**  
 【第2部】情報交換会:会場参加**50名**  
 【第3部】テレビ番組公開収録:会場参加**53名**
- 取材メディア** 計**21社**(テレビ18社、Web3社)
- メディア掲載** 計**155件**(テレビ36回、新聞8回、Web111メディア) ※11/16時点

- 開催概要**
- 【第1部】シンポジウム (10:00~12:30)
  - オープニングメッセージ (笹川会長、海上保安庁 石井長官)
  - クロストーク「異分野・異業種による灯台利活用の提言」(有識者8名が登壇)
  - 「海と灯台学研究的体系化に向けて」発表 (北海商科大学 池ノ上教授)
  - 「海外の灯台利活用について」発表 (「灯台どうだい?」編集長 不動氏)
  - 日本財団メッセージ (海野常務理事)
- 【第2部】情報交換会 (13:00~14:20)
  - 「海と灯台ウィーク」関連イベントリレー中継 (佐田岬灯台、入道埼灯台、野間埼灯台)
- 【第3部】テレビ番組公開収録 (15:00~17:00)  
 出演:門井慶喜氏、澤田瞳子氏、村山由佳氏、海野常務理事



# Project.3

## 海と灯台ウィーク 特別企画

「海と灯台ウィーク」期間中に、地域のテレビ局を中心に自治体、企業等が連携し、海と灯台の空間や歴史等を生かしたイベントを実施。地元住民や観光客が灯台に足を運ぶきっかけと、灯台への興味関心の向上を図った。



### 秋田県

入道埼灯台

#### 入道埼灯台 フェスティバル

灯台一般公開とレンズ室の見学会・清掃会を実施。周辺にはキッチンカーと屋外テントが出店し、当日限定の飲食物を販売。夜は灯台ライトアップや、音楽とレーザーを使った演出で幻想的な景色に。



#### 入道埼灯台 コラボグルメ

フェスティバルを盛り上げるため、白と黒のしま模様をモチーフにしたコラボグルメを灯台周辺の店舗と共同開発。たこ焼き・男鹿しょっつる焼きそば・カフェラテの3品を販売し、好評を博した。



### 愛媛県

釣島灯台

#### 釣島灯台・旧官舎 150周年記念シンポジウム

愛媛で最も古く、日本でも9番目に古い釣島灯台と旧官舎の歴史を振り返り、魅力と未来を考えるシンポジウムを開催。海上保安庁・自治体・メディア関係者・インフルエンサーらが意見を交わした。



#### 坂の上の雲ミュージアムで コラボグッズ&メニュー

松山市内の博物館「坂の上の雲ミュージアム」内カフェとコラボし、釣島灯台の情景をイメージしたドリンクやイラスト入りクッキーを販売。「釣島灯台に行ってみたくなった」との声があった。



### 石川県

禄剛埼灯台

#### さいはての 灯台マルシェ

珠洲市の観光拠点となる道の駅狼煙と連携し、初めて開催。地元の歴史を伝えるデジタル紙芝居上映や禄剛埼灯台周辺を紹介するパンフレット配布、地元の業者と地域住民によるグルメ販売などを実施。



#### 道の駅 狼煙で コラボグッズ&メニュー

海と灯台ウィークに合わせ、禄剛埼灯台をモチーフとした手ぬぐい・キーホルダー・缶バッジなどを新たに製作し、道の駅狼煙で販売。灯台ファンはもとより、一般客にも土産品として喜ばれた。



### 山形県

荒埼灯台

#### 渚の交番カモンマレ 2階レストランで特別メニュー

海と灯台ウィークに合わせ、灯台に思いをはせるイタリアンコースを開発。地場の食材をふんだんに使い、庄内浜の海の豊かさとおいしさ、そして灯台について考えるきっかけを提供した。



#### 灯台の歴史と役割、そして未来へ ～2つの灯台ものがたり in 加茂

鶴岡市加茂地区にある荒埼灯台と、2015年の廃止後も同地区の住民によって保存・維持されている加茂港西内防波堤灯台の2灯台を訪ね、海と地域の関わりの中で果たした役割を学ぶツアーを実施。



### 沖縄県

残波岬灯台

#### 燈の守り人 幻想夜話 「残波岬灯台」舞台

ボイスドラマ「燈の守り人 幻想夜話」の残波岬灯台のストーリーを地元の劇団と連携して舞台化し、那覇市内の劇場で上演。残波岬灯台にまつわるエピソードを臨場感たっぷりに描き出した。



#### 燈の守り人 幻想夜話 上映会&コラボグッズ販売

イルミネーションを施した灯台の外壁に、ボイスドラマ「燈の守り人 幻想夜話」の映像を投影。音響や照明も工夫し、物語の幻想的な雰囲気を出した。観光客や「燈の守り人」ファンが多数来場。





# Project.4

## 特別番組 「灯台を読む」

現代文学を代表する直木賞作家たちが灯台を訪ね、  
文学的な視点で灯台の価値を探求し、  
灯台のさらなる魅力を美しい映像とともに紹介していく知的バラエティ番組を制作。  
BS朝日と全国のテレビ局で放送したほか、YouTubeでも配信した。



## 灯台を読む

～小説家たちが照らす 灯台の未来～

### 出演者



村山由佳 [作家]

2003年『星々の舟』で第129回直木賞を受賞。2023年、作家生活30周年を迎え、記念作品『ある愛の寓話』を上梓。



澤田瞳子 [作家]

2010年に『孤鷹の天』でデビュー。2021年『星落ちて、なお』で第165回直木賞受賞。



門井慶喜 [作家]

2018年に『銀河鉄道の父』で第158回直木賞を受賞。近著に『文豪、社長になる』『天災ものがたり』。



海野光行

【日本財団  
海洋事業常務理事】

日本財団海洋事業部を統括する常務理事。



大橋未歩

【フリーアナウンサー】

元テレビ東京アナウンサー  
2023年からニューヨークに住まいを移し、日米を行き来しながら活動中。

### BS

■ 23年11月25日 13:00~13:54 BS朝日

### YouTube

■ 海と灯台プロジェクト 公式YouTubeチャンネルにて

### 全国ローカル局

- |             |         |            |       |
|-------------|---------|------------|-------|
| ■ 23年12月21日 | 富山テレビ   | ■ 24年1月21日 | 岐阜放送  |
| ■ 23年12月27日 | 山陰中央テレビ | ■ 24年1月23日 | テレビ長崎 |
| ■ 24年1月4日   | 千葉テレビ   | ■ 24年2月2日  | 福井テレビ |
| ■ 24年1月5日   | 青森テレビ   | ■ 24年2月15日 | 南海放送  |
| ■ 24年1月8日   | テレビ高知   | ■ 24年3月17日 | テレビ埼玉 |



# Project.5

## オール読物連載エッセイ 「灯台」を読む

4人の人気作家が灯台を訪ね歩き、  
その文化的・歴史的な価値を文学的に探究し、  
一般向けの読み物にまとめた紀行エッセイを  
文藝春秋の月刊誌「オール読物」にリレー形式で連載。  
同社が運営するウェブサイト「CREA WEB」にも  
写真点数を増やして転載した。



### ● ● 2023年度 4人の直木賞作家が巡った灯台 ● ●



門井慶喜

- 鍋島灯台
- 美保関灯台
- 出雲日御碕灯台



川越宗一

- 神威岬灯台
- 鷗島灯台
- 恵山岬灯台



澤田瞳子

- 高知灯台
- 室戸岬灯台
- 足摺岬灯台



永井紗耶子

- 清水灯台
- 御前埼灯台
- 掛塚灯台

#### 媒体

オール読物  
文藝春秋の月刊(年10回)文芸誌

#### 発行部数

3万部

2022年11月号より連載開始。1人の作家が3基の灯台を巡る、リレー連載エッセイ。同社の女性誌「CREA」のWEBサイトにも転載。24年度には、22年度に灯台を巡った安倍龍太郎、阿部智里の記事と合わせ、連載エッセイを1冊にまとめた書籍「灯台を読む」を文藝春秋より発行予定。







# Project.6

## 海と灯台のまち会議

灯台を観光振興や教育、地域活性化に活用したい  
自治体・企業・団体などの担当者約100名が集まり、  
灯台に関する調査研究や実証実験を行った地域の担当者による  
事例発表と利活用の新たなアイデアの提案、  
「灯台と共にある地域の未来」に関する意見交換を行った。



開催日時	2023年6月7日(水) 13:00~16:15
開催方法	時事通信ホール(東京都中央区)+ YouTubeライブ配信
参加人数	会場参加 <b>約100名</b> 、YouTubeライブ視聴 <b>196名</b>
取材メディア	<b>21社</b>
メディア掲載	<b>計76件</b> (テレビ17件、新聞4件、Web54件、広報誌1件)
開催概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オープニングトーク</li> <li>■ 灯台利活用に関する発表&amp;質疑応答</li> <li>■ 「新たな灯台利活用モデル事業」事例発表 (野間埼灯台、恵山岬灯台、長尾鼻灯台、潮岬灯台)</li> <li>■ 「海と灯台のまち」事例発表 (鷗島灯台)</li> <li>■ 異業種・異分野アイデア発表 (津軽海峡フェリー株式会社、株式会社ストーリーノート)</li> <li>■ 総評</li> <li>■ 講演「灯台とヘリテージツーリズムについて」(北海商科大学 池ノ上真一教授)</li> <li>■ 2023年度「新たな灯台利活用モデル事業」募集説明</li> </ul>



- Report -  
メディアの  
広がり

テレビ放送 90件



Mieライブ(三重テレビ)  
2023年6月13日

ライブBBT(富山テレビ)  
2023年11月9日

NEWS CH.4(南海放送)  
2023年11月2日

新聞など紙媒体 37件



函館新聞  
2023年6月8日

広報えさし  
2023年7月号

朝日新聞  
2023年12月23日

PR TIMES転載件数 1,509件

(PV数 29,278PV)

WEB媒体 175件



富山テレビ  
2023年6月8日

産経新聞  
2023年11月4日

海と灯台プロジェクト WEBおよびSNS展開







## 2024年度に向けて

灯台がなぜ、そこに立っているのか。

なぜ、その高さなのか、そのレンズの大きさなのか。

それらにはすべて意味があり、

灯台を観ると、その土地の地理や歴史、文化といった  
周辺環境と海との関係がわかります。

また、今も昔も、灯台は建設されると、

その光り方と位置情報が、全世界に公開されました。

世界中の航海者たちは、灯台の光り方を観察することで、

どの灯台であるかを判別し、自分が地図上のどこにいるのかを

把握することができるようになりました。

古代から続く日本人と海との営みは、

灯台を通じて、近代以降、世界の海や航海者につながり、

灯台には、それらの連続した「海の記憶」が刻まれています。

日本財団「海と灯台プロジェクト」は、

これまでのさまざまな縁をつなぎ、

日本の灯台群の海洋文化価値を、海洋文化遺産として、

国内はもとより、国際的に発信していく、

そういうフェーズに入ってきました。

より一層、高みを目指して、プロジェクトを推進していきます。